

仏壇店だより 新店舗オープン

ニュースタイル仏壇を中心に展示
今春、岡山西店をオープン

岸佛光堂(岡山)

岸佛光堂(本社・岡山市)は今春二月、岡山西店をオープンさせた。この岡山西店は同社の「ニュースタイル仏壇」の展示を主体とするもので、売り場面積250坪に対して展示する仏壇が100本というゆっぴりとした展示が特徴。

ニュースタイル仏壇は岸佛光堂が商標権を持つ都市型仏壇ブランドだ。岡山県は二尺二寸以上の唐木仏壇がよく販売されて来た土地柄だが、現在では都市型仏壇への需要が高まっている。「岸佛光堂全体で仏壇販売本数の三割がすでに

ニュースタイル仏壇で、岡山西店に限って言えば五割がニュースタイル仏壇という状況です。岡山西店はこうした仏壇販売の現状に対してニュースタイル仏壇に特化した売場を作ろうという意図でスタートしました」と岸卓志社長は語る。

岡山西店にはニュースタイル仏壇に特化した売場をすでに持つが、その発展系とも言える店舗を作ろうというものだ。

実は岡山西店には伝統的な唐木仏壇も展示されているが、店長の岸大貴氏は「岡山という宗教風土を考えた場合、やはり色々なお客様が来られます。弊社は岡山市に本店があり、倉敷市と津山市にも店舗を持ちますが、実は岡山市内の郊外型店舗はこの岡山西店が初めてで、結構広範囲からお客様は車で来店されます。そうするとニュースタイル仏壇だけでは対応

できないんですね。また、倉敷店や津山店にご来店されニュースタイル仏壇をご覧になりたいというお客様を、こちらの岡山西店にお連れすることもあります」と、お客様本位の展示であると説明する。

岡山西店に展示されるニュースタイル仏壇の中心となるのは、岸佛光堂の自社オリジナル製品だ。店内を回りながらオリジナル製品の内容をお聞きすると「なるほど」と思わせる魅力的な製品ばかりだ。

店内の構成で特徴的なのは、メーカーブランドを前面に打ち出したコーナーを持つこと、リビングルーム形式と和室形式の展示ブースを持つことだ。現代の生活空間を店内に再現して、仏壇のお祀りをより明確にイメージして頂くことは、これからの店舗にとって大切なことだ。

仏具の販売は標準仏具を設定しており、表示価格も仏具込みの価格となっている。

「標準仏具はどのスタイル仏壇にでも似合う色とデザインの仏具で、お勧めするとその内容で決めて頂くことが多いです。もちろん、それでは物足りないとお客様にご覧頂くのに十分な内容の仏具も揃えています」

お客様が迷わずに仏具選びを出来るのが最優先、さらにその先の満足感も提供するというスタイルだ。

お子さんが遊べるコーナーも作り、広々とした空間で、お仏壇選びが出来ることはお客様にとって何よりもうれしいことだろう。



広々とした岸佛光堂岡山西店の店内 岸大貴(たいぎ)店長(左)と岸卓志社長(右) ロードサイド型店舗のため、広い地域からお客様が来店される



岸佛光堂岡山西店



店内はニュースタイル仏壇中心の展示



お線香、仏具類共にこだわりの展示



店内ブースでは伝統型仏壇の展示も行われる



地元(児島)特産のデニム生地を用いた仏具類 岸佛光堂のオリジナル製品「BUTU x DENIM」



岡山ならではの日蓮宗不受不施派の珠数も揃える 真言宗の珠数も充実している